

試験研究成果普及情報

部門	果樹	対象	普及
課題名：ニホンナシ「甘太」における果実袋の被覆が果実品質に及ぼす影響			
〔要約〕果実袋被覆により果実表面のさびの発生が抑制され、果実外観は改善する。また、無被覆と比較して糖度が上昇する。一方、硬度が高くなり肉質が変化してしまうため、食味に影響が出る場合がある。			
キーワード ナシ、「甘太」、果実袋、外観、果実品質			
実施機関名	主 査 農林総合研究センター 果樹研究室 協力機関		
実施期間	2022年度～2024年度		

〔目的及び背景〕

ニホンナシ「甘太」（育成元：農研機構）は高糖度で良食味であるが、果実表面にさびが発生することから外観が優れない。袋かけを行うことでさびの発生を抑制できるとの報告はあるが、袋の種類と果実品質の関係は明らかになっていない。産地での導入を促進するため、袋かけによる外観及び果実品質の改善効果を明らかにすることが望まれている。

〔成果内容〕

- 「甘太」に対し果実袋による被覆を行うと、袋の種類にかかわらず、さびの発生が減少し、外観品質が向上する（写真1）。外観を観察したところ、以下の傾向が認められた。
 - 乳白袋を被覆した果実は、被覆時期が早いほどさびの発生が少なくなる。
 - 褐色二重袋を被覆した果実は、さびを構成する果点がぼやけて果実表面がなめらかになる。
 - 赤色袋を被覆した果実は、全ての時期でさびの発生が抑制される。
- 果実袋被覆を行うと、袋の種類にかかわらず、無被覆に比べ糖度が上昇し、被覆時期が早いほど糖度が高くなる（表1）。
- 一方、果実袋被覆を行うと、無被覆に比べ硬度が高くなる傾向がある（表1）。特に乳白袋を満開40日後に被覆すると肉質が粗く硬く感じられる場合がある。

〔留意事項〕

果実袋被覆を行うには一定量の作業時間が必要となるため、外観品質向上に対する費用対効果を十分に検討する必要がある。

[普及対象地域]

県内全域のナシ生産者

[行政上の措置]

[普及状況]

[成果の概要]



無袋区



無袋区 表皮拡大



乳白袋被覆区



褐色二重袋被覆区



赤色袋被覆区

写真1 果実袋被覆が「甘太」の果実外観に及ぼす影響（令和4年）

注）被覆袋は、いずれも小林製袋産業株式会社製品を使用した

表1 袋の種類と被覆時期が「甘太」の果実品質に及ぼす影響（令和4～令和6年）

袋の種類	被覆時期 (満開後日数)	果重 (g)	地色	硬度(lbs.)	糖度(Brix%)	pH
乳白	40	409	2.2 abc	4.9	15.5 a	4.9
乳白	60	427	2.1 bc	4.7	14.8 b	4.9
乳白	80	440	2.0 c	4.5	14.2 cde	4.9
褐色二重	40	446	2.4 ab	4.6	14.6 bc	4.9
褐色二重	60	443	2.4 a	4.9	14.5 bcd	5.0
褐色二重	80	446	2.4 a	4.5	14.1 de	4.9
赤色	40	419	2.1 bc	4.7	15.0 ab	5.0
赤色	60	438	2.0 bc	4.6	14.3 cde	5.0
赤色	80	442	2.1 abc	4.5	14.0 e	4.9
無袋	-	454	1.9 d	4.4	13.7 f	4.9

注1) 各年度各試験区20果、対照区15果を供試し、令和4年から令和6年まで3か年の平均値を示した

[発表及び関連文献]

令和7年度試験研究成果発表会（果樹部門）

[その他]